

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	ごみ排出指導事業						担当部	環境交通部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	廃棄物対策課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	ごみ減量推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		1 3Rを推進する									
		副目的	6-2													
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	5		中	3	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例、小牧市ごみ処理基本計画、小牧市分別収集計画														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %			委託	0 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市民や事業者にごみの分別排出とリサイクルの必要性の周知を図り、ごみの減量化及び再資源化率の向上を図る。														
	内容 (手段)	<p>■平成23年度実施内容(直接経費の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「資源・ごみの分け方と出し方」のパンフレット、「資源・ごみ収集カレンダー」を全戸配布 資源・ごみの分け方と出し方(概要版)作成 821,100円(60,000部) 資源・ごみ収集カレンダー作成 1,711,500円(75,000部) ●廃棄物排出指導員2名によるごみ集積場や事業所を訪問しての分別・排出指導 ごみ集積場指導回数279回、事業者指導329件 ●排出指導用DVD(5ヶ国語対応)の配布及び貸出 DVD貸出 11件 ●職員による出前講座の実施 出前講座15回(受講者延べ533人) ●職員、指導員による早朝ごみ集積場指導(128区)の実施 ●資源の持ち去りについて、所有権が市に帰属することを広報等で市民に周知徹底 警察と連携を取りながらパトロールを実施 <p>消耗品 505,575円 医薬材料費 3,478円 手数料 34,040円</p> <p>■平成24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成23年度と同様に実施する。 ●資源・ごみ収集日お知らせメールサービスを開始する。 ●小牧市くらしのガイドの廃止に伴い、資源・ごみの分け方と出し方(冊子)を全戸配布する。 														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,288	2,910	3,076	8,182	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,595	1,595	1,595	1,595
		その他職員	従事者数	人	1.40	1.40	1.40	1.40
			人件費	千円	2,240	2,240	2,240	2,240
		費用合計	千円	8,123	6,745	6,911	12,017	
	対前年比	%			83.0	102.4	173.8	
財源	一般財源	千円	8,123	6,745	6,911	12,017		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位	H21	H22	H23	H24
	廃棄物排出指導員による集積場指導回数	回	目標		—	—
回		実績	87	179	279	
出前講座・説明会の実施	回	目標		12	12	12
	回	実績	10	11	15	
資源・ごみ収集カレンダーの作成	部	目標	—	—	—	—
	部	実績	75,000	75,000	75,000	
績	成果指標名	単位	H21	H22	H23	H24
	再資源化率	%	目標	27.2	27.5	27.9
実績			28.2	27.2	27.0	
		目標				
		実績				

事業の自己評価	事業の達成状況	<p>集合住宅、事業所への分別・排出指導などにより市民や事業者にごみの分別排出とリサイクルの必要性の周知を図った。再資源化率は目標数値を達成できなかったが、古紙類の新聞店自主回収、民間(スーパー等)の店頭回収等が進んだことが要因であると思われる。</p> <p>小型家電の分別方法変更に伴い、資源・ごみの分け方と出し方を作成し、全戸配布した。</p>
	事業実施における課題等	<p>排出指導用DVD(5ヶ国語対応)の内容が古くなってきており、一部現状と合わない部分があるので、検討が必要。</p>
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>市民や事業者に対しごみの分別排出とリサイクルの必要性の周知を図らなければ、結果的にはごみの排出量の増加を招き、市のごみ処理費用の増加を招く。</p>
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	<p>ごみの減量化のためには、ごみの分別排出とリサイクルが必要不可欠であり、分別収集やリサイクルの周知のためにパンフレットや排出指導用DVD(5ヶ国語対応)が有効であるため。</p>
	改善案等	<p>よりわかりやすいパンフレット等による周知と地道な指導が必要である。DVD(5ヶ国語対応)で、最新の情報を提供していく。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	<p>ごみの減量化や分別排出の徹底のためには、分かりやすいパンフレットを配布することなどは重要である。ただし、より効果的なものとなるように見直しは必要である。</p> <p>また、多くの市民は、これまでの啓発で、分別等の排出について十分、理解していると思われるので、今後は、転入者、単身者、外国人など情報量の少ない方に啓発対象を重点化していく必要がある。</p>